

1 沼津高架PIプロジェクト
2 **今後の地域づくりの進め方について**
3 (勉強会とりまとめ(修正案))

4 平成25年10月

5 沼津高架PIプロジェクト勉強会

6 勉強会では、鉄道高架事業と貨物駅移転に関して、対峙する様々な
7 参加者が一堂に会して話し合い、今後の進め方について、以下の認識
8 を共有した。これらは、どのような意思決定がされた場合であっても、
9 今後の地域づくりを進める上で配慮すべき事項である。県は、本とり
10 まとめの対応状況を自己点検しながら、真摯に地域づくりに取り組む
11 べき。

12 **①何も決まらない状態は最も避けるべき**

13 勉強会の話し合いや市民の意見を十分に踏まえ、速やかに意思決定し、沼津市や
14 鉄道事業者との協議を早急に開始すべきである。

15 **②現状のまま放置するのではなく、地域づくりを早急に進めるべき**

16 沼津駅周辺地区については、賑わいを生み出す豊かな空間と都市機能の集積、駅
17 南北交通対策を図り、東部地域の拠点にふさわしい地域づくりを早急に進めるべき
18 である。

19 原地区については、今後の広域アクセス性の向上や地域資源など地区の持つ魅力
20 を最大限に生かし、基盤整備や新たな産業の展開を図り、地域づくりを早急に進め
21 るべきである。

22 **③市財政へ配慮し、効率的な事業とすべき**

23 将来に渡り市財政への過剰な負担が生じないよう、財政状況の継続的な検証とコ
24 スト縮減の努力を怠らず、最大限の効果を生み出せるような事業とすること。

25 **④県と沼津市は今後とも市民参加によるまちづくりを進めるべき**

26 今後の地域づくりにあたっては、県と沼津市が協調し、検討状況に関する情報を
27 市民に公開し、市民参加の機会を確保しつつ十分な調整を図って進めること。

28 以上